

NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



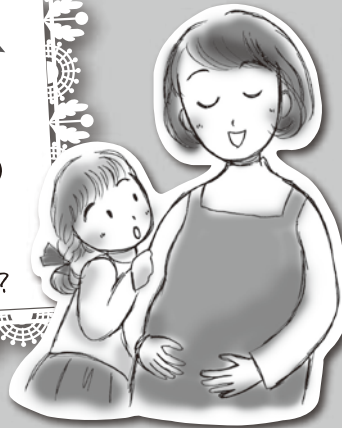
第122号 通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2014年1月24日発行 46,370部

とても大切なこと。

いのちの話。

8歳までに80%の子どもが聞いてきます。
「赤ちゃんはどこから生まれてくるの？」
この問いかけにあなたならなんて答えてあげますか？



突然この質問を、子どもたちは私たちに問いかけてきます。
その時、その瞬間に私たちは、真実を神秘的に伝えてあげることができでしょうか？
性=タブー・いやらしい とされてきた時代を生きた母親を持つママ世代、子どもに本当のことを伝えてあげたいけれど…。

どんな言葉を使って
伝えたいのだろうか？

伝えたとときの反応に
対応できるだろうか？

本当のことを話して
いいのだろうか？

とたくさんの疑問が出てきます。
その疑問が一度に解決でき、目の前がクリアになる
保護者向けのいのちの話を今回東部子育てセンター
でも実施してみようと思います。

今まで
受講された方
からの感想

- 子どもにきちんと説明できなかったことが今まで何度かありました。今日からはちゃんと話せそうです。(小1、年少の保護者)
- 何をどこまで、どのように伝えていけばよいか知ることができた。今からでもやれることをしていこうと思う。(年少の保護者)
- 正面から向き合ってしっかり子どもたちに伝えようと思いました。良いきっかけになったと思います。(1年、年少の保護者)
- 子どもに向き合うのにもっとすぐになろうと思いました。性教育ってすばらしいことなんですね。(年少の保護者)

などなど、たくさんの感想を頂いている講座です。話を聞いてからと聞く前では性、いのちに対する考え方やイメージが、がらりと変わる目からうろこのお話を「産まれてきてくれてありがとう」のメッセージを添えてお届けいたします。

普段はお子さんと一緒に話を聞いて、参加しているのですが、東部子育てセンターに遊びに来てくれる子どもたちは、もっともっと小さい子どもたちなので、今回は保護者向けとさせていただきます。

子どもたちが大きくなるにつれ、不思議に思ったり感じたりすることも出てくるはず。そんな時に向き合えると素敵だと思いませんか？
改めて、生まれてきてくれたことに親自身が感謝でき、子どもへのまなざしも温かいものになると思います。

☺

保護者向けのいのちの話

～子どもと性・いのちを語るためのエッセンス～

日時：平成26年2月22日(土) 10:30～11:30(お話し40分程度+質問タイム)

場所：東部子育てセンター(サンマルシェ・アピタ館地下一階 春日井市中央台)

定員：30組(特に予約は必要ありません)

※お子さんと一緒に参加いただく形になります。

また、対象は未就園児のお子さんを持つ保護者の方とさせていただきます。

★ 梅木美恵子さん(助産師)からのメッセージ

全ての人のいのちはつながっています。今出会っている子ども達や家族は奇跡的な出会いであり必然的な出会いでもあります。いのちの繋がりの神秘は隠す事でも恥ずかしいと思いません。真実を神秘的に子ども達に伝え、子ども達と向き会える素敵なお人になって欲しいと思います。愛されるために産まれて来た子ども達と家族の絆を一つのお手伝いをさせて頂きたいと思っています。

あっとわん 春秋

「意識化することについて、このコラムを読んで、意識してくださっている方も多いようで嬉しく思っています。しつこいですが、今回このテーマについて補足的に書きたいと思っております。▼いくら意識しようと思っても、「意識化の限界」があります。これは、もともと自分興味関心のないことや、知っているつもりになっていたりは「意識化」に本当はつながっていないということ。たとえば、自分が妊娠すると、妊婦さんが多いことに驚くときがあります。これは、いままでそんなに気にかけていなかったことが、急速に「自分のこと」＝「当事者意識」という芽生えが自分の中に出来たために「意識化」することになったわけなのです。その結果「妊婦さんって最近多く見かけるよね」というものになるわけです。▼自分の意識が向くような自らの興味関心の発信が無いと、人は意識化することには限界があるわけなのですが、それを補うためには、興味関心がなくても「そうなんだ」という事実を自分の中に貯めて、それを「意識化」していくことの積み重ねが有効になるのだと思います。過剰でも不足でもなく、ありのままを受容することのみで「意識化」のきっかけには十分だと思えます。

かわのゆみこ